

05Cr17Ni4Cu4Nb

化学成分、機械的・物理的特性値、および 1 地域にわたる 1 件の規格名称。

弾性率 196 GPa	他規格での名称 1 地域	特性値 14 収録
-----------------------	------------------------	---------------------

化学成分

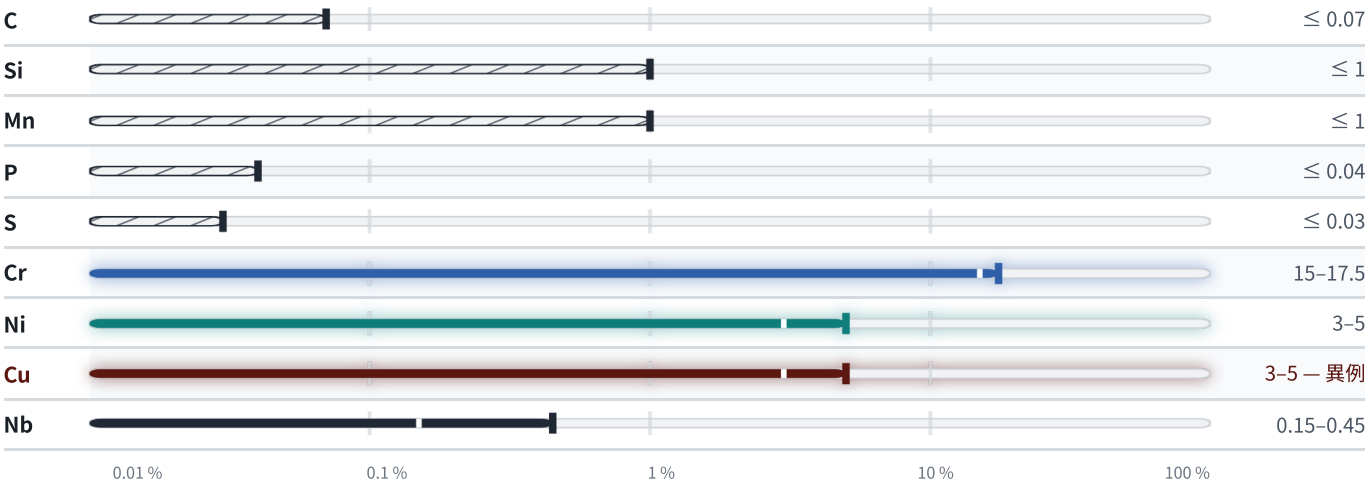
質量分率 (%)

この合金の正体



● 鉄 — 残部であり、いかなる規格にも記載されません — 73.3 % ● Cr — 16.3 % ● Ni — 4 % ● Cu — 4 % ● 微量元素・不純物・2.4%

対数スケール (0.01 %~100 %) — ここに示す値はすべて桁ごとに直接比較できます。



この目盛りは対数であり、合金に占める元素の生の割合ではありません。0.01%と100%を一枚の図に正直に収める唯一の方法であり、ここに示すどの値も互いに比較できることを意味します。

予測変態温度

この鋼種の変態温度を予測するのに十分な登録成分がありません — 不足元素: Mo。

機械的性質

1 状態 · 4 件

状態 · 寸法	HB
H480	≥ 375
H550	≥ 331
H580	≥ 302
H620	≥ 277

物理的性質

5 件

状態 · 寸法	E GPa	ALPHA 10^-6/K	LAMBDA W/(m·K)	CP J/(kg·K)
20	200	–	–	–
100	195	11.1	17.2	–
200	185	11.5	–	–
300	175	11.8	–	–
400	170	12.2	–	–
500	–	12.6	23	460

項目	値	単位
縦弾性係数	196	GPa
熱膨張係数	10.8	10^-6/K
熱伝導率	16	W/(m·K)
比熱容量	500	J/(kg·K)
電気抵抗率	710	nΩ·m

熱処理

12 種の条件

工程	温度	冷却媒体
multiple operations, source states neither order nor alternation		
析出硬化処理	480 °C	—
時効処理	温度の記載なし	—
時効処理	550 °C	—
multiple operations, source states neither order nor alternation		
析出硬化処理	550 °C	—
時効処理	温度の記載なし	—

工程	温度	冷却媒体
multiple operations, source states neither order nor alternation		
析出硬化処理	580 °C	—
時効処理	温度の記載なし	—
時効処理	580 °C	—
時効処理	620 °C	—
multiple operations, source states neither order nor alternation		
析出硬化処理	620 °C	—
時効処理	温度の記載なし	—
固溶化熱処理	温度の記載なし	—
source joins the operations with 或 (or)		
固溶化熱処理	温度の記載なし	—
焼なまし	温度の記載なし	—
multiple operations, source states neither order nor alternation		
析出硬化処理	温度の記載なし	—
時効処理	620 °C	—
multiple operations, source states neither order nor alternation		
析出硬化処理	温度の記載なし	—
時効処理	480 °C	—
固溶化熱処理	温度の記載なし	—

各規格での名称

1 件の名称 · うち 1 件は同一と確認

中国	1
05Cr17Ni4Cu4Nb 本鋼種固有の名称	gb

ご利用にあたって。本データは、公開されている規格およびメーカー資料から可能な限り正確にまとめたものです。材料試験や EN 10204 に基づく検査文書に代わるものではありません。EN 10204 2.1、3.1 または 3.2 によるミルシートは、お問い合わせの際に併せてご請求ください。常に現行版の規格が優先されます。

05Cr17Ni4Cu4Nb に関するお問い合わせ

お問い合わせを始める

お見積り、在庫、ミルシート、技術的なご質問 — 材料ページから直接どうぞ。

オンライン版データシート	材料検索	材料番号	発行
材料ページを見る	すべての材料を検索	—	2026/08/19